

挑戦と前進



大津町立大津北中学校 学校便り
「生徒で創る北中に挑戦！」号
令和4年6月21日（火）文責：主幹教諭

学校を創る主体は生徒！

北中生全員が参加し、本年度の生徒会の方針について議論する生徒総会を五月三〇日（月）に校内オンラインで行いました。

生徒会とは、生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。「ことを目的とした組織で、北中生全員が生徒会員となります」。

議案は次の通り。

○第一号議案 会計報告及び

今年度の活動計画について
執行部の昨年度の反省及び今年度の活動計画について

○第二号議案
生徒会スローガンについて



生徒総会は総会の名の通り、生徒会としての意思を決定する機関です。

生徒会執行部は会計報告、活動計画などを緊張の面持ちで説明しました。各クラスからは事前の話し合いでまとめられた質問や意見が出されました。

世の中には、ほとんどの組織に総会があります。生徒達もいざ社会に出て、様々な組織に関わっていくと思います。組織を運営する一人であるという意識をこの経験によつて育んでいきたいです。そのことが、生徒が主体となつて学校を創っていくことにつながります。

第三号議案で承認された本年度の生徒会テーマは「笑懸命」。執行部によると、四字熟語である一生懸命の「生」を「笑」に変えたものであり、何事も本気で「懸命」に取り組み、みんなが「笑う」という思いが込められているそうです。さらに、本年度は学校開校25周年の25にかけて「三三三」という意味もこめられているそうです。：深い。総会準備は四月から進められていました。執行部の生徒達は資料準備やリハなど、意識高く取り組んできました。そんな努力の姿が他の多くの生徒に広がっていくことを期待します。

地域の方々のご支援に感謝！



学校を創る主体が生徒ならばそれを支えるのは大人です。本年度の第一回学校運営協議

会を五月二七日（金）に開催しました。

学校運営協議会制度（コミュニケーション・スクール）は、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となつて特色ある学校づくりを進めていくため仕組みです。本校は導入二年目になります。

本校から本年度の経営方針や教育目標、実態等の説明を行い、本年度の重点取組事項などを承認していただきました。

その後の意見交換では、様々な気づきをいただきました。大変ありがとうございました。

令和四年学校運営協議会委員（敬省略）

- 古賀 倫嗣（熊本大学名誉教授）
- 田吹 雅美（地域学校協働活動推進員）
- 江口 竜一（NPOみんなのうちの理事長）
- 緒方 祐二（室小校区区長代表）
- 清原さおり（美咲野小校区区長代表）
- 奥田 泰行（護川小校区区長代表）
- 古庄 啓起（北小校区区長代表）
- 小野ケサ子（民生児童委員代表）
- 後藤 辰豊（民生児童委員代表）
- 上里 史花（PTA副会長）
- 野山ひろみ（PTA母親部長）

今日の挑戦
北中生に
笑顔あり

25周年
だけに

職員室
TODAY

生徒総会も
学校運営協議
会も、入念な
準備が必要で
す。働き方改
革という言葉
を、自分のやり
がいの向上とし
てとらえる担
当者。

北中職員は
タフなです。